



編集・発行 山見妙勢能 宗能勢能 蓮宗能勢能 日蓮宗能勢能 広報部
〒563-0132 大阪府豊能郡能勢町野間中
電話 072-739-0329
FAX 072-739-2883

兄弟げんか

植田 観肇

「あんたが悪いからこうなったのよ」

「そんなことないもん。お姉ちゃんが悪い」

やれやれ、またケンカが始まった。さつきまで仲良くしていたかと思ったら、いつの間にかケンカをしている。

そんなケンカもしばらく経てば、まるで何事も無かったかのように、また仲良く遊んでいる。一体、仲がいいのか悪いのか。

また内容も、大抵はどうでもいいような些細なことでケンカしている。本人にとっては大切なものかもしれないが、ある程度経験を積

んだ大人からみればどうでもいいことで争っているの、笑っては悪いと思うが心の中でついつい笑ってしまう。

そんなほほえましいケンカも、こちらの仕事にされると、気が散って仕事に集中できない。そうするとケンカが収まるまで我慢できずに、仲裁に入ってさつきとケンカを終わらせようと声をかけてしまう。だがこれもなかなかタイミングが難しく、大抵は火に油を注ぐことになり、お互いもつと怒り出して収集がつかなくなることも。結局あたたかく見守るのが一番なのだが思いのほか忍耐が必要だ。

さて、この構図をどこか

で見たことがあると思っただら法華経だ。法華経の中でお釈迦様は皆の父であり、さらに常に私達を見守ってくださっていると説かれているのだ。

永遠の命を持ったお釈迦様からすれば、刹那の時間のなかであーだこーだと言いつい合う私達は、きつと愛しい我が子を見守る親のようなものではなからうか。仏からすれば取るに足らない

ことで争う私達を、たゆまざる忍耐でにつきり笑っていつか気づくはずと信じてくださっているのだ。

仏さまの忍耐力には比べるべくもないが、まずは子供のケンカをあたたかく見守れるようになりたいものだ。そして、自分もまた仏の子としてつまらないことに意地を張らないように少しずつでも努力していきたい。

《法華経に学ぶ現代》

其の心

戀慕するに

因って

乃ち出でて

為に

法を説く

『如来壽量品第十六』

戀という字を細解せばいと(糸)し

いと(糸)しと言う心昔の人はこのように

言葉の意味を受け止めて胸に仕舞った恋をした

そんな切なさほろ苦さ

それもこの世の試練だと

仏は静かに法を説く

【6月の主な行事】

- ★写経会 9日(日)11時
- ★月例祈願法要 15日(土)13時
- ★星嶺演奏会 16日(日)11時
- ★星嶺茶論 16日(日)13時
- ★鷗様月例祭 22日(土)15時

【7月の行事予定】

- ☆七夕祭 6月29日(土)〜7日(日)
- お願い事を短冊に書き入れて妙見様に奉納します。無料。
- ★写経会 14日(日)11時
- 初心者の方もどうぞ！
- ★月例祈願法要 15日(祝)13時
- ★星嶺演奏会 21日(日)11時
- トランペットなど生演奏
- ★星嶺茶論 21日(日)13時
- ★妙見さまの御縁日祈願会
- ★鷗様月例祭 22日(月)15時
- ※火伏守札を授与
- ☆虫払祈禱祭 22日(月)〜24日(水)
- 体力が落ち魔が入りやすい土用の時期に心身の安定を願って能勢妙見山に伝わる霊刀「波切丸」を頭に頂き、煩惱の虫を妙見大菩薩に払っていただきます。

《交通のご案内》

◆ケーブル&リフト毎日運行中

自然の恵みに 感謝の心を

——詠裡庵

水が出て来ない。蛇口をひねれば水が出るというの
は、ごく当たり前のことだ
と思っていたが、そうはい
かないとなると、これほど
不自由なことはない。

そう言えば、今年に入っ
てから、雨も雪も降らず、
この先作物がどうなるだろ
うと心配している農家の方
の話が、テレビにも流れ
ていた。

我が家では、主として山
から流れ出る天然の水を水
道管でひいて使っている。

その水が日に日に少なく
なってきたのは事実だ。で
も全くないわけではないの
に、水が出て来ないのであ
る。途中の水道管が破損し
たとしか考えられない。

そこで専門家に来ても
らったが、水源からの道
中、どこにも漏水した形跡
が見当たらないという。土

が湿っているところもない
し、まして吹き出している
ところもない。

「ま、様子を見ましよう」
といて帰ってしまった。

幸い近くに別の水系の水
道がひいてあり、そこから
水を人力で運ぶことで何と
か急場をしのいだ。しかし
不便な事この上ない。災害
地の人たちの苦勞を改めて
思い浮かべながら不安な
日々を過ごした。

一週間後の朝早く、再び
水道屋さんがやって来た。

「我々も納得できないので
再度挑戦にきました」

なんと有難いことか。私
も一生懸命に祈った。

昼間近になって、
「漏水箇所が判りました」

明るい笑顔で報告に來ら
れた。まさに執念の仕事の
結果である。菅の破損箇所
が、下に向かって開いてお
り、しかも漏れた水が地中
に染みこんでおり、見た目
にはまったく判らない状態

ジメジメとした梅雨
が始まった。いつもな
ら雨はうつつとうしいと
思うばかりだが今は雨
が待ち遠しい。という
のも、先日、友人から
素敵な傘をプレゼント
してもらったからだ。

これをもらってから
というもの、早く雨が
降らないものかと毎日
天気予報を確認してし

☆☆☆☆星のたより☆☆☆☆

まう。同じ雨の日なの
に持ち物一つで心持ち
まで変わってしまうの
が自分でもおかしい。
日蓮聖人は私達の見
方が変わればこの世界
は浄土にもなれば地獄
にもなるとおっしゃる
が、分かる気がする。
少しでも浄土の心持
ちでいれるように努力
してゆきたい。
U.K

俳壇

（みのり）

夏の空大旋回の鳶ひとつ

郭公かじろうの声に歩を止む山登り

どくだみも材となりて里の家

ポケットのゴミ裏返し更衣こころもがえ

お砂場の忘れスコップ梅雨さざす

法華経茶話

衣裏繫珠論(一)

続いて衣裏繫珠論
をみていきます。

ある人が大変裕福
な親友の家に遊びに
行きました。その人
はいつしか酔いつぶ
れ、眠ってしまいました。そ
のうち友達は出かけなくて
いけない時間になりました
が、その人と今度はいつ会え
るかわからないので、友達
は酔って眠っているその人の着
物の裏に、とても高価な宝珠
をそっと縫い込んで出ていき
ました。やがてその人は眠り
から覚め、あちこちの国を仕
事を求めて歩き、大変な苦勞
をしました。ある日、その人
が友達とばったりと再会し、
「どうしたんだ、確か君が酒
に酔って眠っている時に、僕
は君の衣の裏に値千金の宝珠
を縫いつけてあげたではない
か」と言いました。その人が
自分の衣の裏を見ると、確か
に高価な宝珠が縫いつけてあ
りました。